

事前評価表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成31年度～平成35年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりせいぶ） 網走西部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 あばしりせいぶ 網走西部森林管理署 網走西部森林管理署西紋別支署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道北東部のオホーツク海側に位置し、全国森林計画で定める網走・湧別川広域流域のうちオホーツク総合振興局管内北西部の1市3町で構成されている。</p> <p>対象とする国有林面積は191千haであり、森林の7割がミズナラ、シナノキ、カンバ類等の広葉樹とトドマツ、エゾマツ等の針葉樹が混交する天然林で占められ、残り3割が主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ、カラマツ、アカエゾマツ等の人工林で、このうち間伐の対象となる林分が約7割となっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本計画区内の森林については、大部分が水源かん養保安林に指定されており、地域の水源として、生活用水の供給源となるとともに、基幹産業である農業及び水産業の振興に資するなど重要な役割を担っていることから、水源涵養、山地災害の防止等の役割の発揮が求められている。</p> <p>この地域は、従来から豊かな森林資源を利用して林業・木材産業が発達してきたところであり、近年は、森林認証の取得を拡大し、森林の整備、加工流通体制の整備等を進めるとともに、オホーツクブランド材の普及に向けた取組を行っている。</p> <p>特に木材加工業では建築用材等の生産が盛んであるほか、木楽館（遠軽町）や森の美術館（西興部村）等、市民や観光客等が森林や木材と親しむことができる施設も整備されている。また、木質バイオマスのエネルギー利用についても、活発な動きが出てきていることから、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、本計画区の国有林には網走国定公園のほか、優れた山岳景観を有し道立自然公園に指定されている天塩岳等があり、温泉施設、溪谷や滝等豊かな森林景観と豊富な観光資源にも恵まれている地域である。</p> <p>本事業は、これまでの評価結果を踏まえ、地域の期待に応えるとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入等を図り、低コストで効率的な作業システムを確立しながら、地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>663 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>16,939 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>37.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">7,551,201 千円（税抜き 6,991,853 千円）</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	663 ha			保育面積	16,939 ha		路網整備	開設延長	37.4 km			改良延長	0.1 km	総事業費	7,551,201 千円（税抜き 6,991,853 千円）		
主な事業内容	森林整備	更新面積	663 ha																				
		保育面積	16,939 ha																				
	路網整備	開設延長	37.4 km																				
		改良延長	0.1 km																				
総事業費	7,551,201 千円（税抜き 6,991,853 千円）																						
費用便益分析	総便益（B）	28,872,424 千円																					
	総費用（C）	10,127,004 千円																					
	分析結果（B/C）	2.85																					

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大部分が水源かん養保安林に指定されており、地域の水源地としての役割や、地域の基幹産業である農業や沖合底引き網、ホタテ貝及びサケ定置網を中心とした漁業と、湖沼を利用した養殖漁業の漁場保全等に資する観点から、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。また、急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められている地域であり、地球温暖化防止対策や木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスを向上させ、森林整備においても現地状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林が健全な状態に維持され、水源涵養、山地保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮が期待される。また、効率的な森林整備により、地域の基幹産業である農業や漁業の振興にも資することから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>

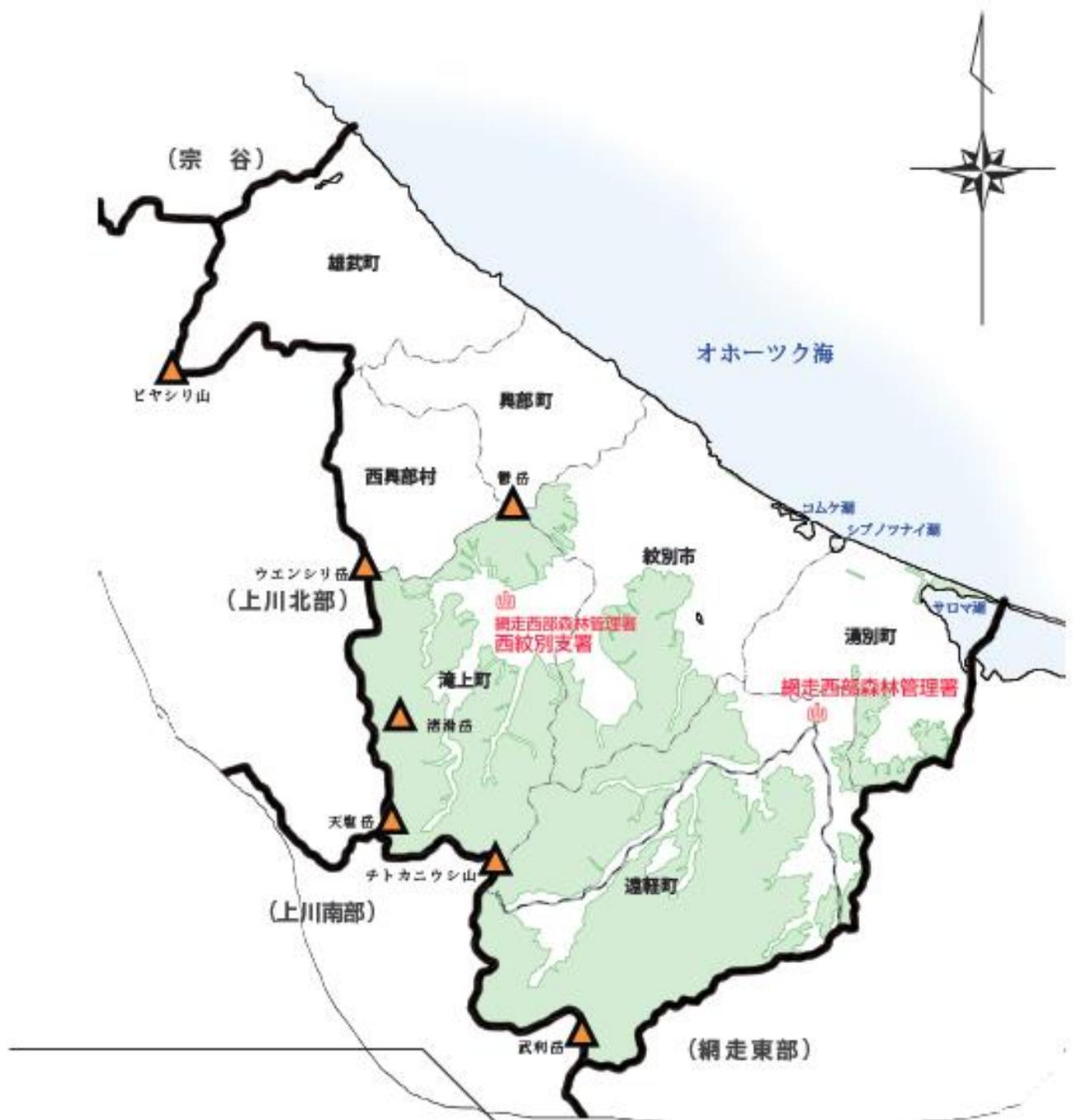
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業
施行箇所：網走西部森林計画区

都道府県名：北海道
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,723,036	
	流域貯水便益	1,724,492	
	水質浄化便益	3,687,207	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,908,948	
環境保全便益	炭素固定便益	3,205,781	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	461,902	
	木材利用増進便益	671,863	
	木材生産確保・増進便益	3,042,183	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,136	
	森林管理等経費縮減便益	35,963	
	森林整備促進便益	407,913	
総 便 益 (B)		28,872,424	
総 費 用 (C)		10,127,004	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{28,872,424}{10,127,004}$		= 2.85

網走西部森林計画区的位置図



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
森 林 管 理 署	